

栗田工業株式会社

2018年3月期 第3四半期決算説明会

(証券コード: 6370)

- I 2018年3月期第3四半期実績** P 1 - 9
- II 2018年3月期通期計画** P10-16

I. 2018年3月期第3四半期実績

業績ハイライト

(単位: 億円)

	2016/12期	2017/12期	前年同期比
受注高	1,621	1,879	+ 15.9%
売上高	1,521	1,635	+ 7.5%
営業利益	136	149	+ 8.9%
営業外収支	5	- 1	—
経常利益	141	147	+ 4.4%
特別利益	4	40	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	101	135	+ 33.5%

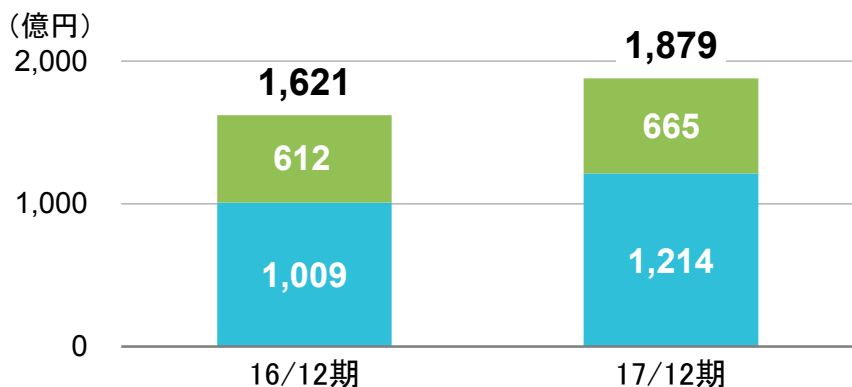
- 水処理薬品事業における新規連結や水処理装置事業における大型受注により、受注高が大幅に増加。
- 増収と水処理装置事業の原価率改善により営業利益が増加。
- 持分法適用会社株式の段階取得に係る差益と政策保有株式の売却益を特別利益に計上。

為替レート (単位: 円)	2016/12期	2017/12期
USD	108.69	111.92
EUR	121.17	124.55
CNY	16.50	16.47

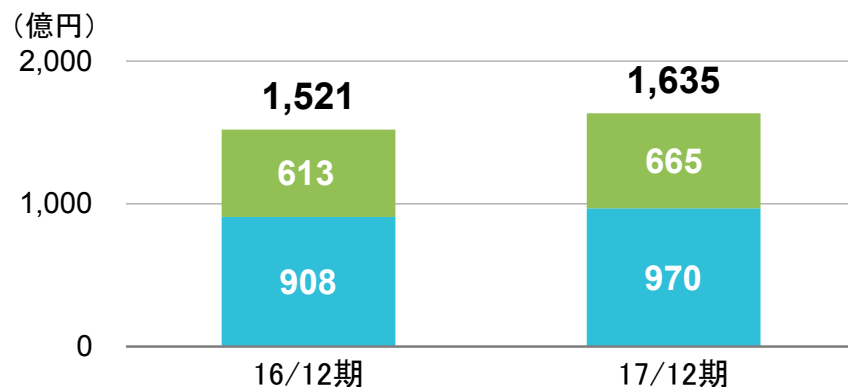
受注高・売上高・営業利益・営業利益率



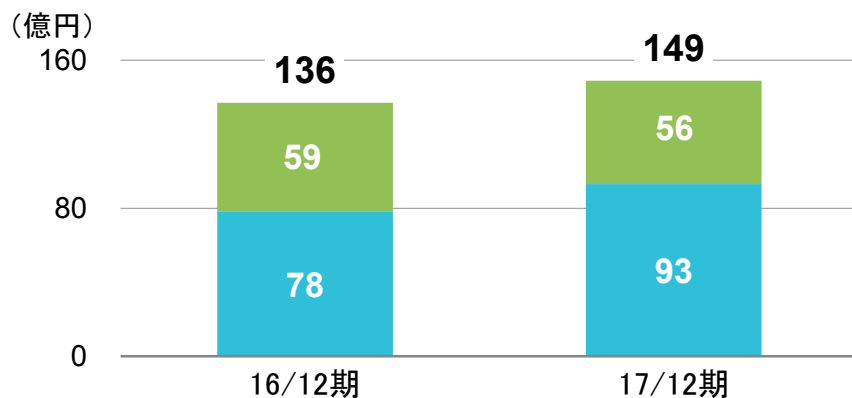
受注高



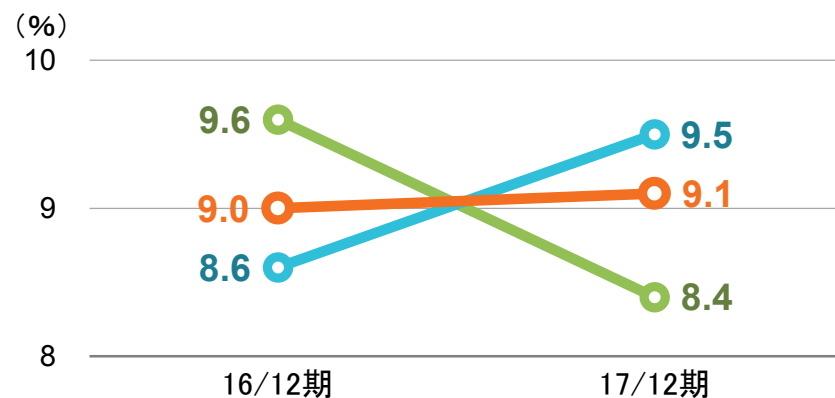
売上高



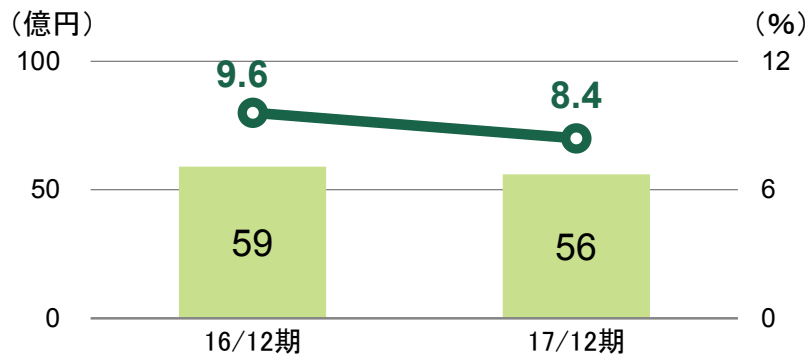
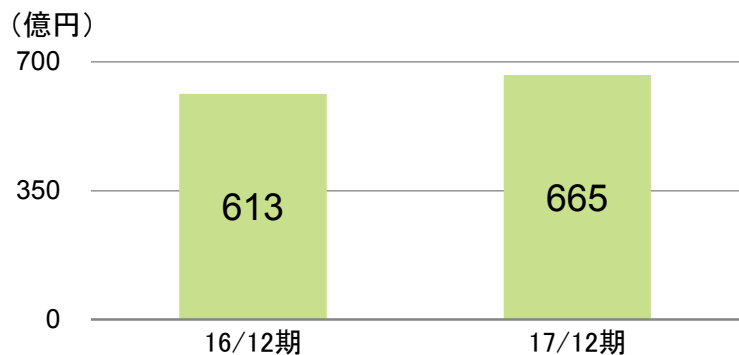
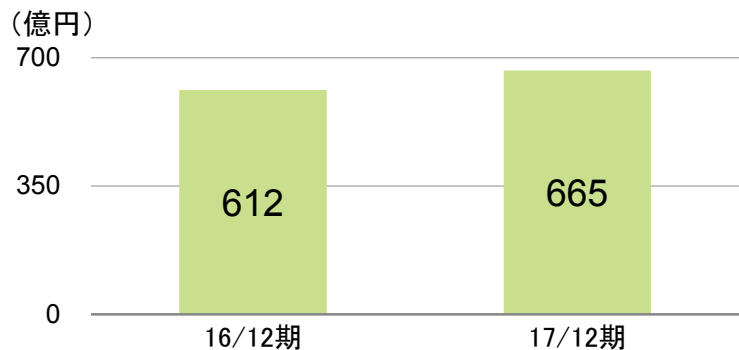
営業利益



営業利益率



水処理薬品事業



● 営業利益率

受注高

- 国内は主力商品が伸長し、2.9%の増加。
- 海外は主に新規連結の影響により15%の増加。新規連結を除くベースでも5%の増加。

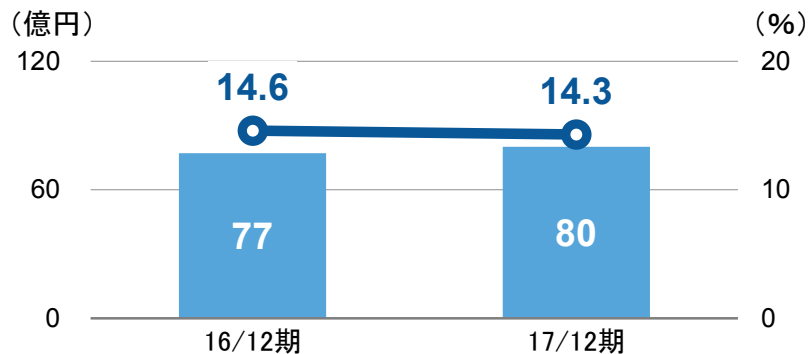
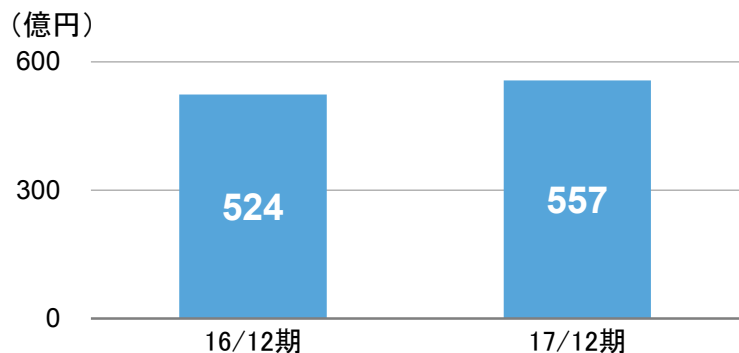
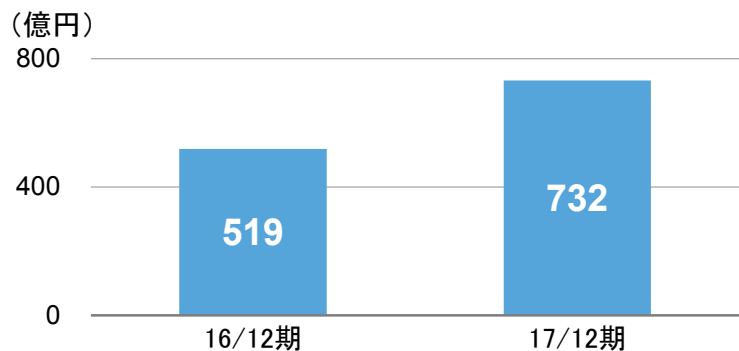
売上高

- 同上。

営業利益

- 海外事業の積極展開に伴う人件費の増加やIT関連費用の増加により減少。

水処理装置事業（電子産業向け）



● 営業利益率

受注高

- 国内ハードが第1四半期に大型案件を受注し増加。
- 中国・韓国のFPD・半導体向け大型案件の受注が継続。
- 超純水供給事業は契約変更の影響により減少。

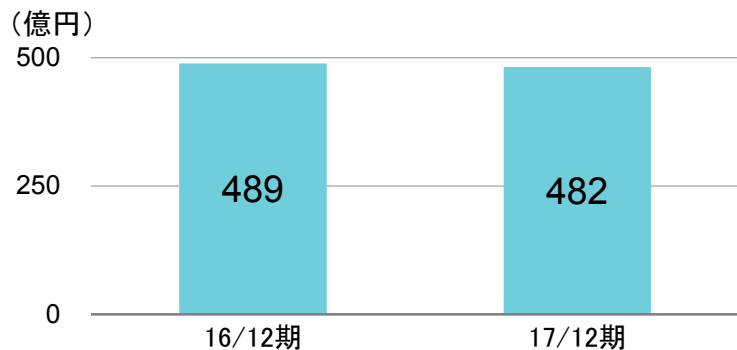
売上高

- 国内大型案件の工事が進捗。
- 国内メンテナンスが顧客の増産対応により伸長。
- 超純水供給事業は契約変更の影響により減少。

営業利益

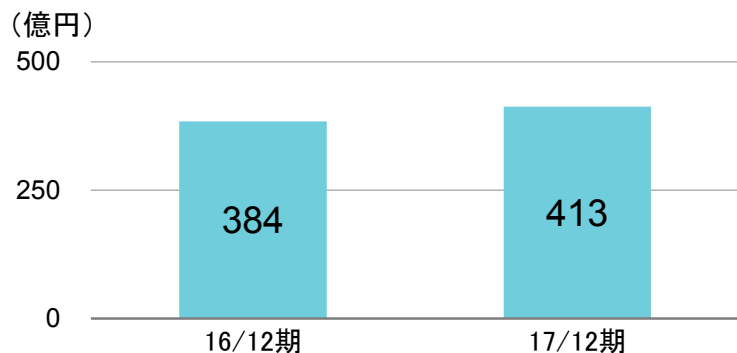
- 超純水供給事業の減収によるマイナス。
- 超純水供給事業以外の増収と海外ハードの原価率改善によるプラス。

水処理装置事業（一般産業向け）



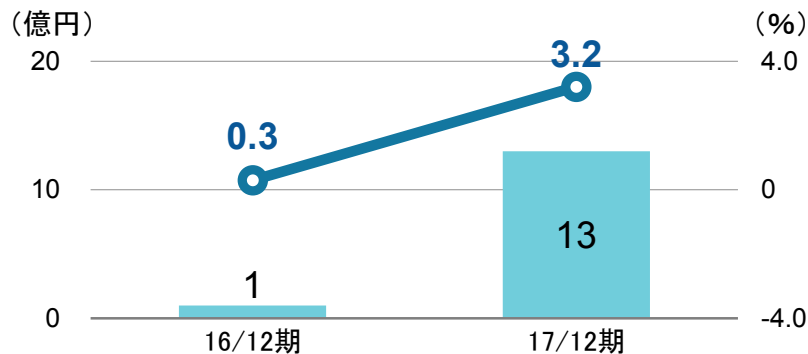
受注高

- 電力向けハードと一般産業向けハードで減少。
- 一般産業向けメンテナンスが老朽化対応や増強需要を取り込み増加。



売上高

- 電力向けハードは増収。
- 一般産業向けはハード、メンテナンスともに増収。
- 土壌浄化は減収。

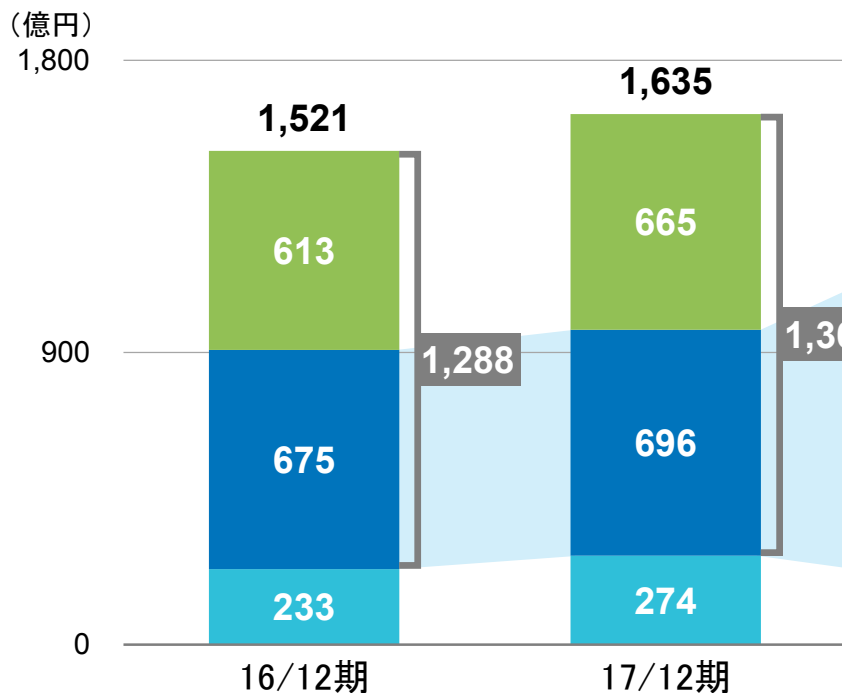
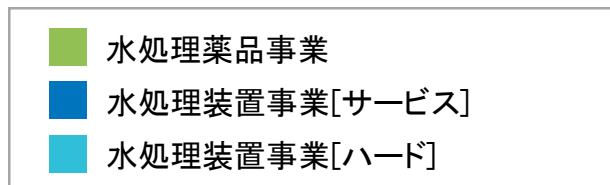


営業利益

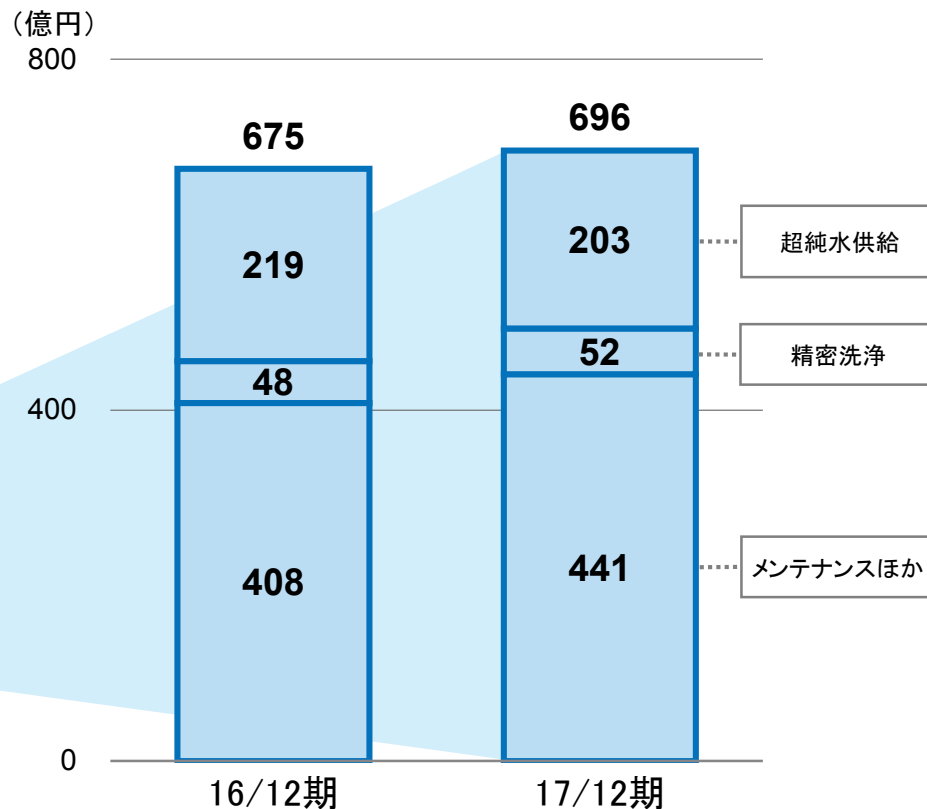
- 電力向けハード、ならびに一般産業向けハードとメンテナンスの採算改善によるプラス。

● 営業利益率

サービス事業売上高



水処理装置事業中のサービス事業売上高内訳



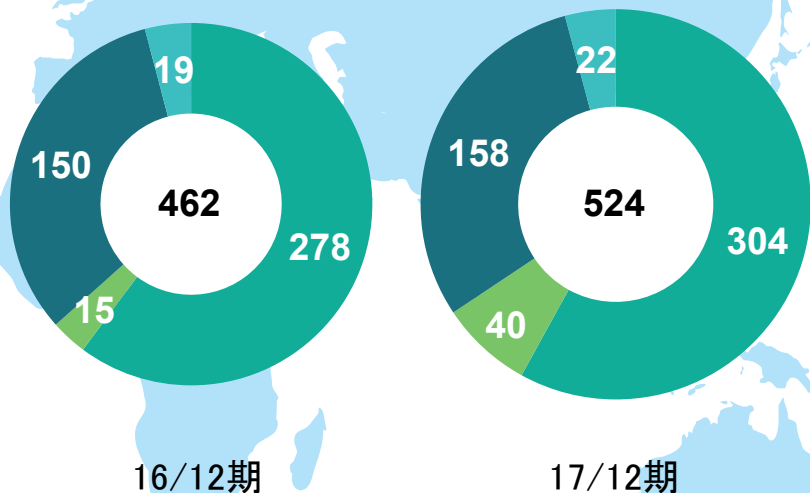
- 精密洗浄が顧客稼働率改善により増収。
- メンテナンスが国内外で増収。

海外事業売上高

海外地域別売上高

■ アジア ■ 北米 ■ EMEA ■ その他

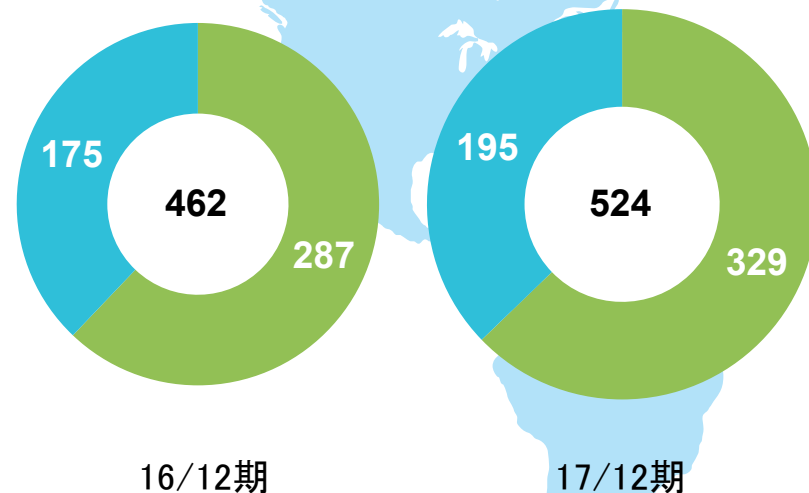
(単位:億円)



海外事業別売上高

■ 水処理薬品事業 ■ 水処理装置事業

(単位:億円)



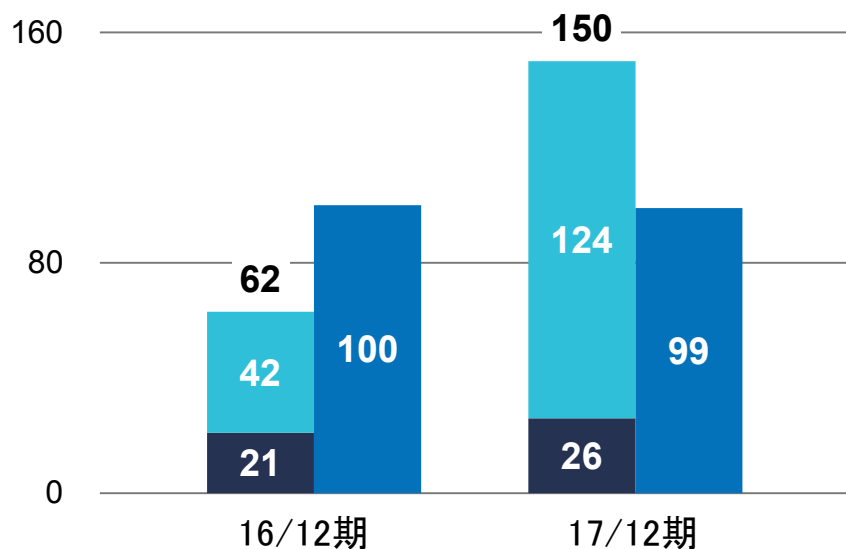
- 水処理薬品事業は、北米地域以外の各地域でも増収。
- 水処理装置事業は、大型案件の工事進捗により増収。

設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費

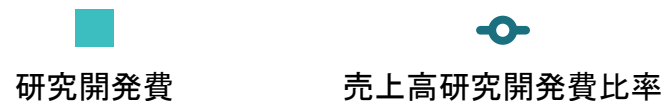


(億円)



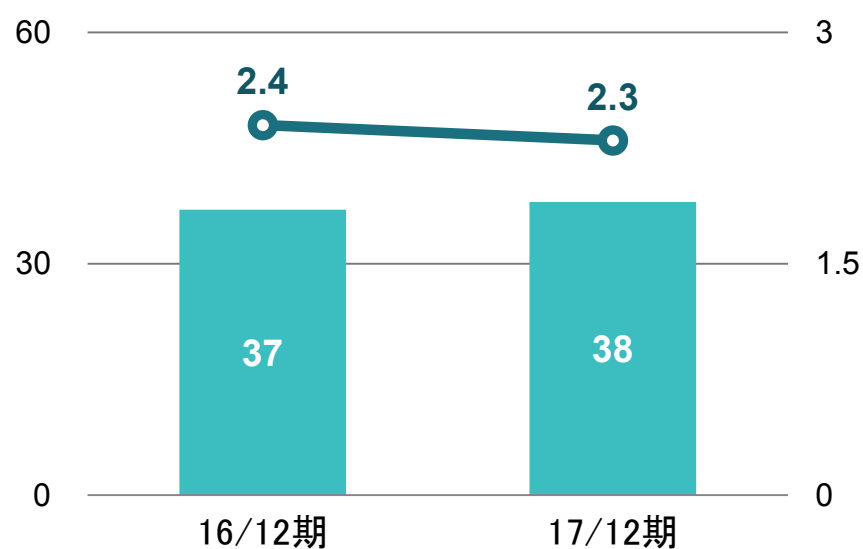
■ 超純水供給事業の設備投資が進捗。

研究開発費



(億円)

(%)

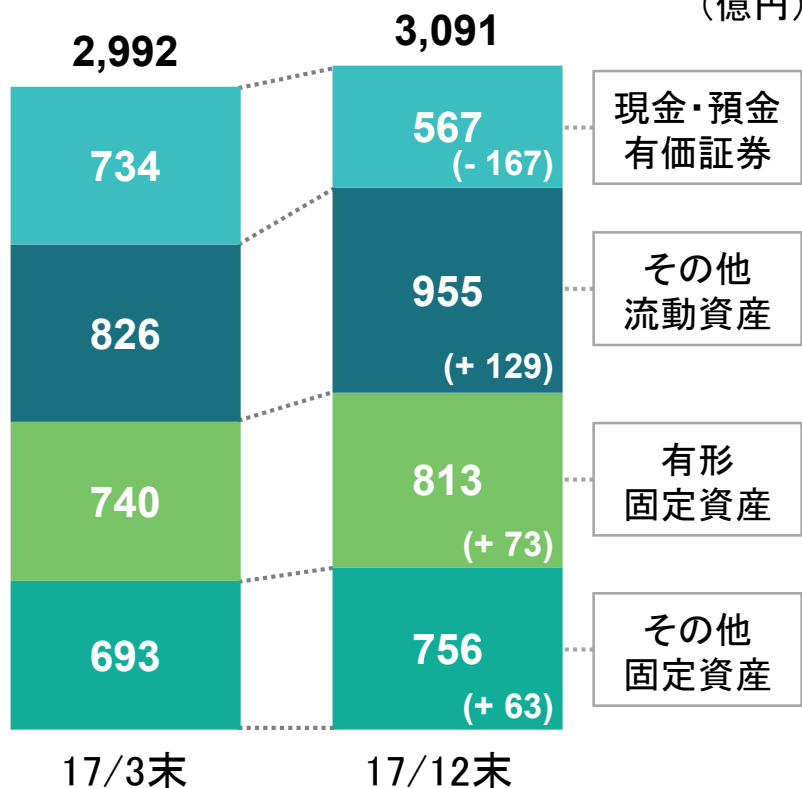


■ 概ね計画に沿った進捗。

財政状態

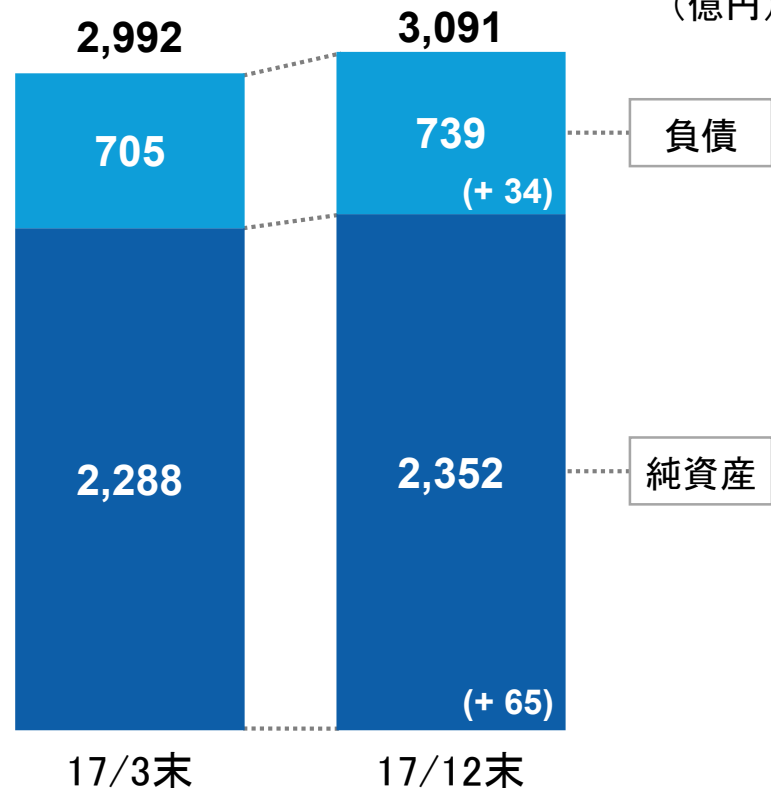
資産

(億円)



負債・純資産

(億円)



- 超純水供給事業用設備への投資額が減価償却費を上回り、有形固定資産が増加。
- 韓国の持分法適用会社の子会社化に伴うのれんの計上により、無形固定資産が増加。

Ⅱ. 2018年3月期通期計画

概要

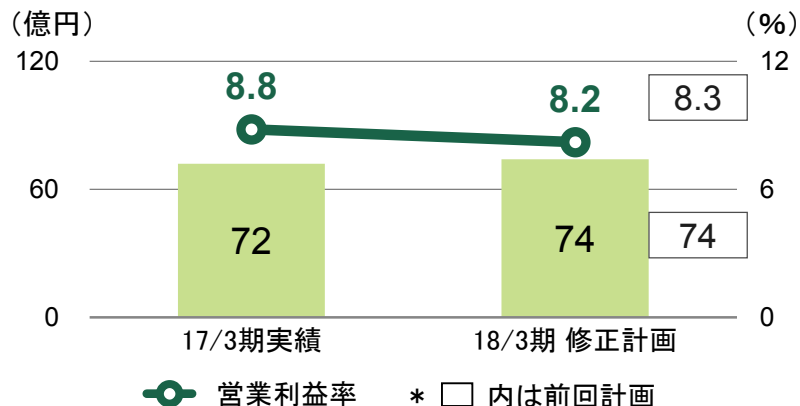
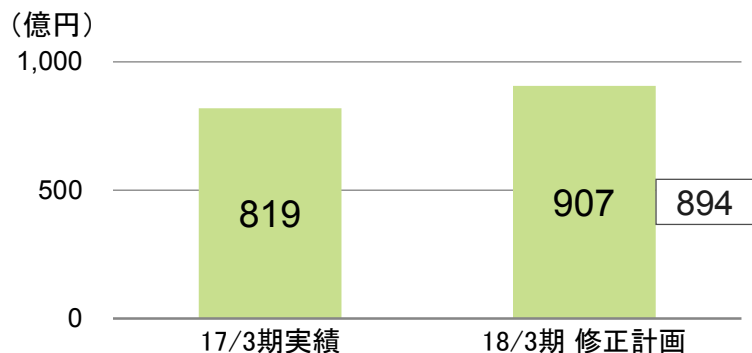
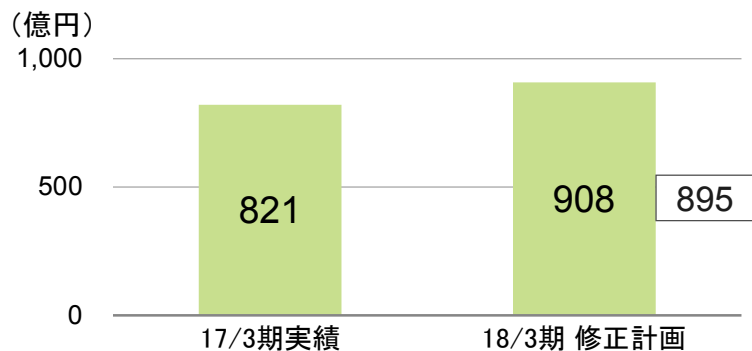
(単位:億円)

	2017/3期 実績	2018/3期 修正計画(1/31)	前期比	2018/3期 前回計画(10/31)
受注高	2,187	2,480	+ 13.4%	2,380
売上高	2,142	2,350	+ 9.7%	2,300
営業利益	195	217	+ 11.6%	210
営業外収支	6	0		5
経常利益	201	217	+ 8.1%	215
特別損益	4	34		—
親会社株主に帰属する 当期純利益	145	183	+ 26.2%	150

- 水処理薬品事業、水処理装置事業ともに海外での受注高と売上高の見通しを上方修正。
- 売上高見通しの修正に伴い、営業利益の見通しを上方修正。
- 第3四半期における特別利益の計上により、当期純利益の見通しを上方修正。

為替レート (単位:円)	2017/3期 実績	2018/3期 計画
USD	108.84	112.20
EUR	120.33	126.60
CNY	16.37	16.60

水処理薬品事業



受注高

- 韓国の持分法適用会社の子会社化に伴い1カ月分を上方修正。
- 為替レートの見直しに伴い海外の見通しを上方修正。

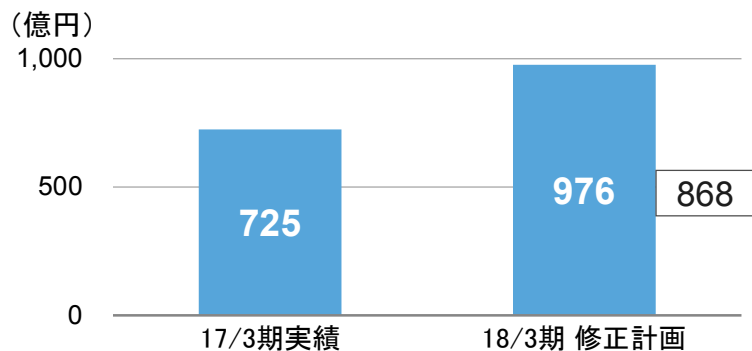
売上高

- 同上。

営業利益

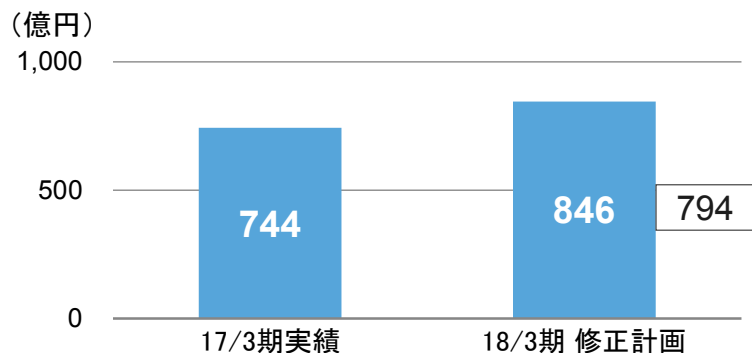
- 売上高の修正による影響は軽微のため、前回計画を据え置き。

水処理装置事業（電子産業向け）



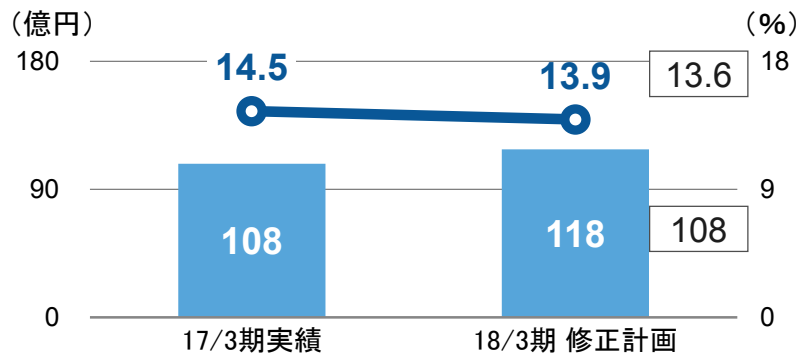
受注高

- 中国・韓国における旺盛な需要と受注の進捗を勘案し上方修正。



売上高

- 海外ハードの好調な受注と工事進捗を勘案し上方修正。

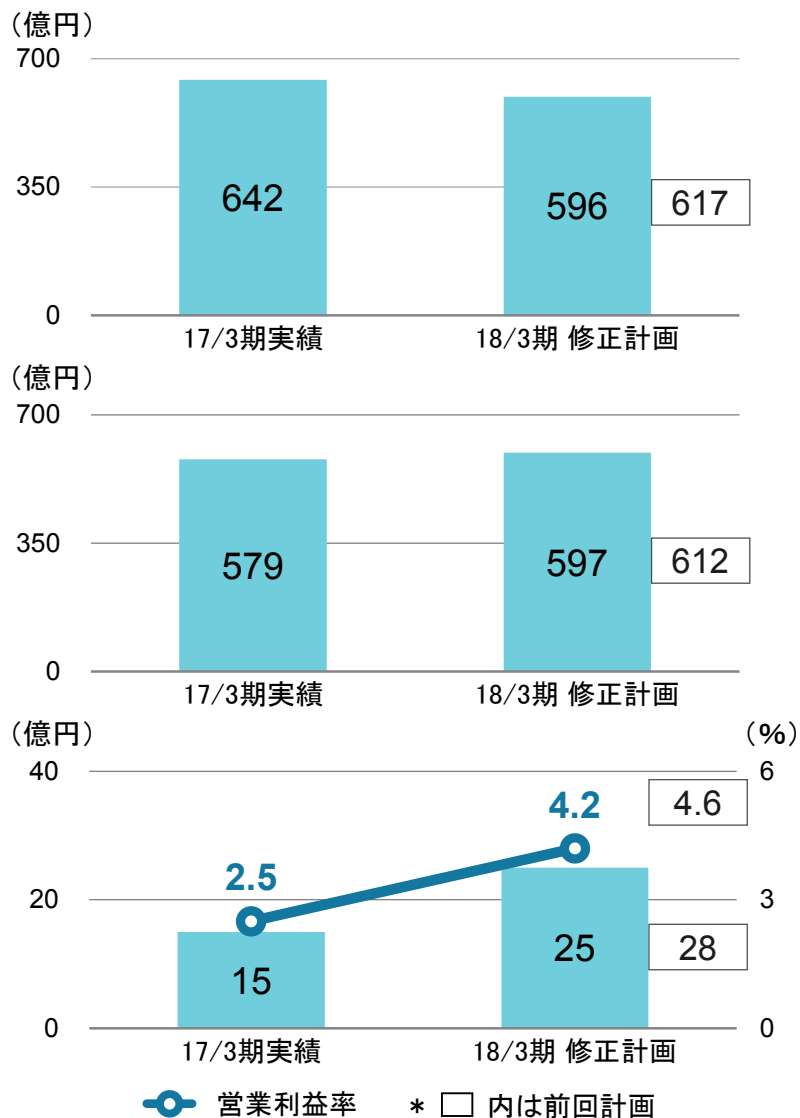


営業利益

- 第3四半期までの進捗と売上高見通しの修正を反映し、上方修正。

● 営業利益率 * □ 内は前回計画

水処理装置事業（一般産業向け）



受注高

- 電力向けハードと一般産業向けハードの見通しを下方修正。

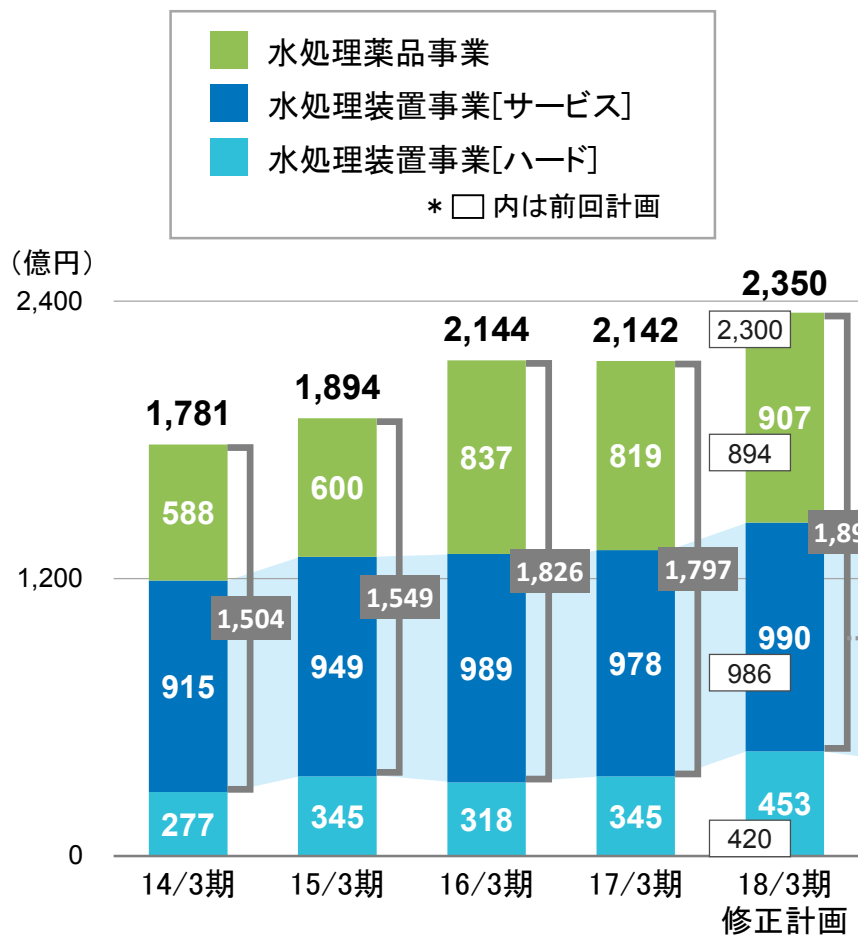
売上高

- 一般産業向けメンテナンスの見通しを下方修正するも前期比では増収。

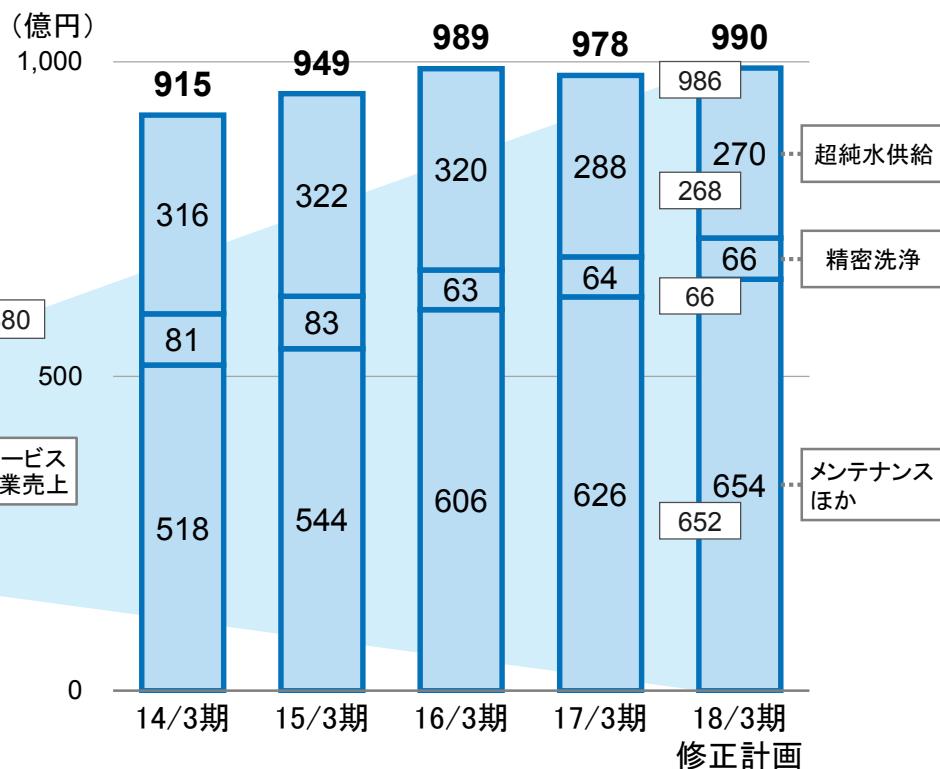
営業利益

- 第3四半期までの進捗と売上高見通しの修正を反映し下方修正。

サービス事業売上高



水処理装置事業中のサービス事業売上高内訳



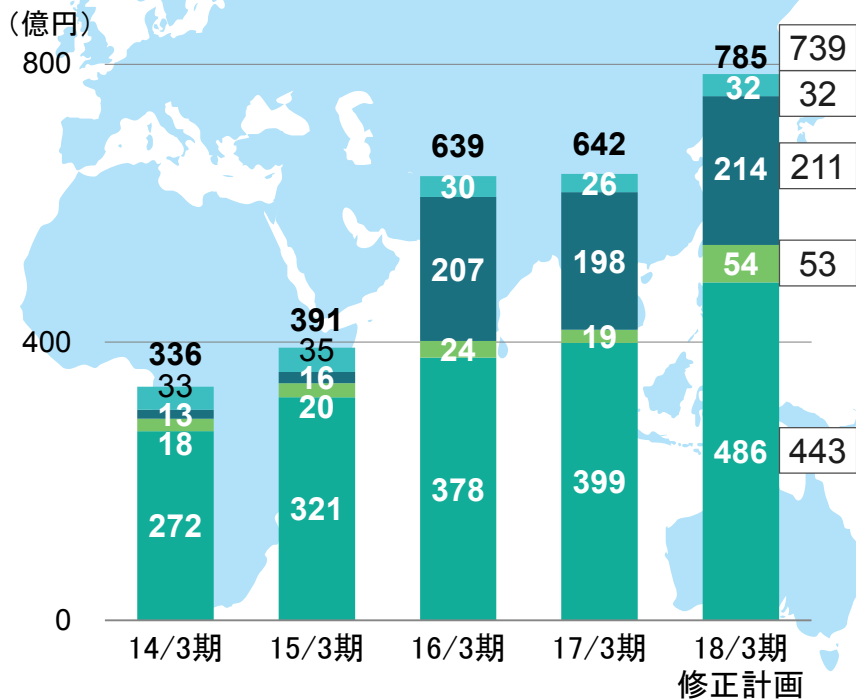
■ 海外の超純水供給事業と国内メンテナンスの見通しを上方修正。

海外事業売上高

海外地域別売上高

■ アジア ■ 北米 ■ EMEA ■ その他

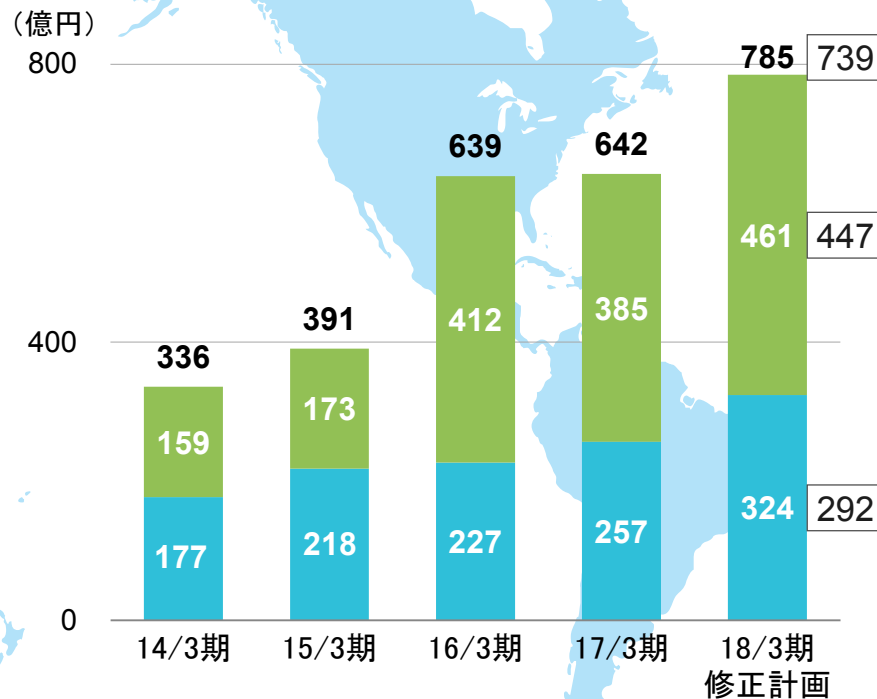
* □内は前回計画



海外事業別売上高

■ 水処理薬品事業 ■ 水処理装置事業

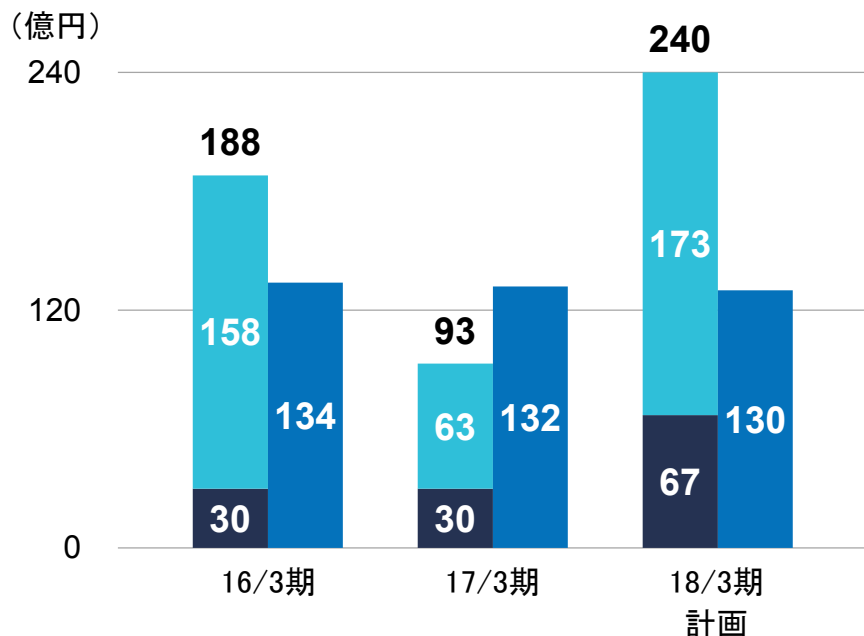
* □内は前回計画



- 水処理薬品事業は韓国の持分法適用会社の子会社化と為替レート見直しの影響により上方修正。
- 水処理装置事業は韓国と中国における売り上げの伸びを反映し上方修正。

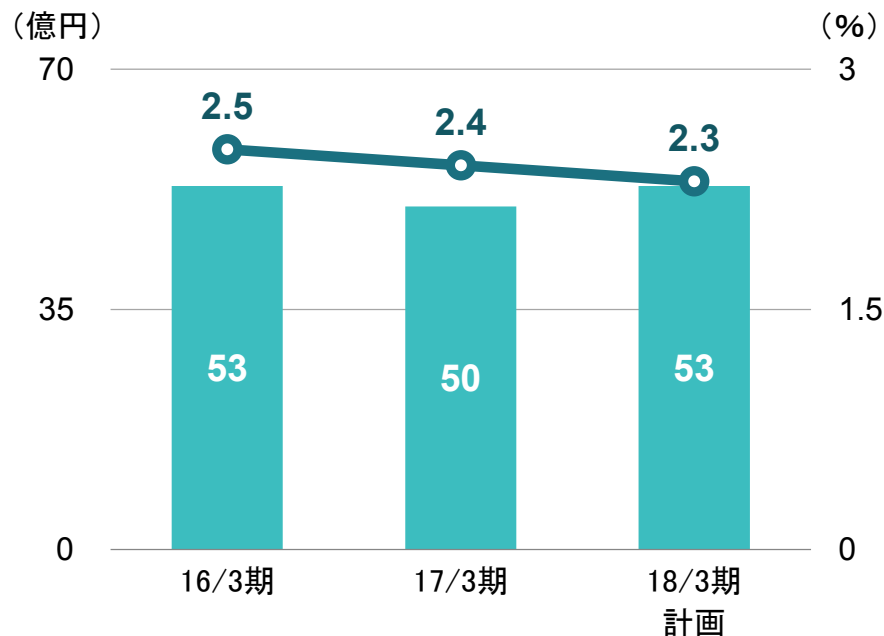
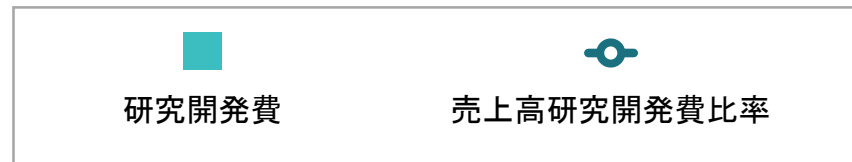
設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



■ 前回計画を据え置き。

研究開発費



■ 前回計画を据え置き。



- U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
- M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。